

日本ユネスコ
プロジェクト
未来遺産登録

この世とあの世をつなぐ朱塗りの橋を渡る
江戸時代に起源を持つ癒しの儀式

三年に
一度の

布橋灌頂会

ガイドブック

ぬのばし かんじょうえ



【開催日】

9月27日(日)
10:00～14:00

- 見学無料
- 橋渡り体験や地元グルメも！



公式
Instagram

富山県[立山博物館]にて企画展 開催中

「布橋灌頂会の魅力がわかる！」

9月27日(日)に開催予定の
「布橋灌頂会」を記念して、
貴重な史料から「布橋灌頂
会」を紹介します。



会 期 6月30日(火)～9月27日(日)まで

会 場 富山県[立山博物館]
展示館・2階 常設展示室内

開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)

観 覧 料 常設展示観覧料(一般 350円)

展示解説会 9月26日(土) 14:00～15:00

富山県
[立山博物館]HP



- 現地での注意事項 -

- ◆ 安全柵・安全ロープから外に出ないでください。
- ◆ お墓には登らないでください。
- ◆ 係員の指示に従ってご見学ください。
- ◆ ドローンの飛行及び撮影は禁止です。

【受賞歴】

2014年度サントリー地域文化賞
日本ユネスコ協会連盟「第3回プロジェクト未来遺産」

主 催 布橋灌頂会実行委員会

本ガイドの発行者 立山町(商工観光課)
TEL:076-462-9971

布橋灌頂会に
関する問合せ先

布橋灌頂会実行委員会事務局
一般社団法人立山町観光協会
富山県中新川郡立山町前沢1209番地18 駅前プラザ1階
TEL:076-462-1001

立山町
観光協会HP



布橋灌頂会

ぬのばし かんじょうえ

とは？

極楽浄土を願う、生まれ変わりの儀式

江戸時代は、生前の罪の内容や軽重により、死後、地獄へ堕ちると信じられていました。その不安から逃れ、罪を清めることを目的に、男性の間では立山禪定(ぜんじょう)登拝が盛んに行われました。険しい山道を登り、地獄谷を巡るこの厳しい修行は地獄の疑似体験と考えられており、無事に下山することで死後の極楽往生が約束されました。

一方、当時の女性は、五障三従の身といわれ、死後、必ず地獄に堕ち、極楽往生は叶われないと説かれました。しかし、当時の立山は女人禁制であり、女性の登拝は許されませんでした。そこで、女性救済の儀式として生まれたのが「布橋灌頂会」です。この儀式では、死装束をまとい、目隠しをして布橋を渡ることで、現世での罪やけがれを清め、一度死んで生まれ変わる擬死再生を体験し、極楽往生を願います。心に邪念がある者には、橋に敷かれた白い布が蜘蛛の糸のように細く弱く感じられ、渡ることができないと言われていました。

現在では、女性救済の歴史を今に伝える貴重な場として、参加者の深い祈りが捧げられる厳かな癒しの儀式として受け継がれています。

